

会社や社会への 不満を口にするのは やめよう

取材・構成 金澤 匠

写真撮影：長塚 健

いまの仕事を 天職にする方法

TOMAコンサルタンツグループは、「明るく・元気・前向き」を企業スローガンに掲げ、経営、財務、人事など多岐にわたる分野で企業の悩みを解決する。自ら、社長や幹部のモチベーションアップのための講演を数多く行なっている理事長・藤間秋男氏に聞いた。

*

公認会計士、税理士、中小企業診断士などの有資格者百五十人による総合コンサルティング業を展開しています。

企業の経営アドバイスなどを



Akio Toma

藤間秋男

TOMAコンサルタンツグループ(株) 代表取締役 理事長

行なうなかで、近ごろは閉塞感に悩んでいる人がじつに多い、というところに気がきます。仕事があまくいかない、人間関係が築けない、先がみえない。そんなふうに苦しんでいる人がたくさんいます。どうしてで

しょうか。理由の一つに、会社が夢を語っていないことがあると思います。「こういう会社にしよう」と経営陣が口にするところで、社員も目標をもてるようになります。目標をもつことができれば、毎日の仕事は楽しくなるでしょう。

「世界で一番『ありがとう』を集める」というのが、TOMAコンサルタンツグループの夢です。「明るく・元気・前向き」の経営理念に基づき、目先の利益だけを考えず、クライアントから信頼されることを第一に考えて仕事に励んできました。お客様の笑顔がみえると、自然に「仕事が楽しい」と感じるので

「会社が楽しくない」と転職を考える人も少なくありません。転職には、ヘッドハンティングなど上をめざすための転職と、「面白くないから」と職を転々とするマイナスの転職の二種類があります。後者の転職はその人にとってよい選択とは思えません。まずは、いまの仕事で「天職」にするべく、努力することができると、その仕事は天職になると私は考えます。そう信じて、思い込むことが大事なのです。「ここは自分の居場所ではない」と青くみえる隣の芝生に移っても、そこでまた不満が出てくるでしょう。

「会社が悪い」「社会が悪い」と自分以外の何かを責めてグチをこぼしても、そこからは何も生まれません。夢とは逆に、不満は口にしないうがい。口にしても現状は何も変わらないのですから。代わりに、現状をよくするべく次の手を考えるべきだと思います。私はよく、「打つ手は無限」といっています。悩んでいる人は、現状改善のために「できることは全部やったか」と考えてみてください。

他人を変えることは難しいですが、自分が変わることができると、自分が変われば、

周りも変わっていくという効果もあります。たとえば、職場の雰囲気をよくしたいと思ったら、すぐにでも簡単にできる方法としてお勧めしているのが、相手に感謝することです。「ありがとう」とは「有り難い」ということ。当たり前と思わず、意識的に感謝することで、相手の粗を探すのでなく、よいところを探す心持ちに変わるはず

です。

しかし、努力しているのにうまくいかなければ、もう成功などできないかもしれない心が折れそうになるときもあるでしょう。そんなときに気持ちを切り替えるためには、三つの有効な策があります。

一つは、過去をすっぱり忘れて前向きになること。もちろん、失敗の原因を考え、反省することは必要です。でも、ひとしきり頭のなかで反省したら、次のやるべきことを考えましょう。

二つ目は、学ぶことです。本を読んで新しい知識を得る。学ぶことで、前向きになれるはず

です。

三つ目は、よい言葉に触れること。成功者の言葉には、金言が多くあります。そうした言葉を知り、実行に移すことで、確実に実になつていくでしょう。